

「蝶々」

窓ガラスのすぐ向こう側にモンシロチョウが飛んでいた。
畑を飛び回っているうちに、ここまで辿り着いたのか。
そういえば、いつだったか近くの畑でモンシロチョウの群れを見た。
羽が光を反射してキラキラしていた。
花びらが舞っているようだった。

息子が小学生の頃は、その頃住んでいた家のテラスで野菜やハーブを育てていた。
ピーマン、プチトマト、とうがらし、ラベンダー、ローズマリー、バジル、オレンジタイム、
月桂樹…あと何だったか忘れてしまった。
料理の前に、息子に収穫を頼むのが嬉しくてたまらなかったなあ。

そうだ、パセリ。
ガーデンテーブルのそばのプランターで、パセリを育てていたのを思い出した。
そう、その頃の話。

ある朝、テラスに面した窓を開けた時、パセリのプランターが目に入った。
パセリは立派に育っていたが、そのもこもこ感到違和感があった。
ん？　なんだ？　何かが…？
徐々にフォーカスしていく感じ、おわかりいただけると思う。
そして私の目がとらえたのは、パセリにこんもりのキアゲハの幼虫だった。

声にならない声、いや、「ギャーッ」と叫んでいたかもしれない。
立派に育ったパセリは、幼虫に食べつくされそうになっていた。
パセリは中心から新しい葉がによきによき出てくるけど、幼虫の勢いに追いつかず、程なく丸坊主になっていった。
息子と近所の子どもたちと一緒に観察したなあ。
十数年前のことである。

光をあびながら一途にはばたくモンシロチョウ。
パセリを丸坊主にするキアゲハの幼虫。
それはエネルギーのかたまり。
ひたすらに生きるエネルギーに触れるとき、私も前に進もうと思う。